

令和7年度 美術 研究部 事業報告書

静教研三大事業

研究大会	開催方法	集合開催				
	日時	令和7年 8月 7日(木) 9:45~15:20				
	会場	芝川文化ホール(くれいどる芝楽)				
	参加者数	118名	分科会数	4	実践発表者数	6
	内容	大会テーマ「変える・返る・かえる」 (1)開会行事(県部長挨拶) (2)講演(ワークショップ) 講師 サノユカシ氏(イラストレーター) 演題 「カチコチの頭をぐにゃぐにゃにするサノユカシのお絵かきの時間」 (3)分科会 実践研究1「地域連携に関する取組」 実践研究2「学びのつながりを意識した富士市図画工作」 実践研究3「変える・返る・かえる」 実践研究4「探究型学習を軸とした造形活動」 実践発表→グループ協議				
調査研究活動	事業名	実施内容(実施日・会場・内容等)			参加者・人数等	
	関東甲信越静地区造形教育研究茨城大会	令和7年11月15日(土) 市民会館(集合開催) 全体会、分科会、全体講評			4名	
研究成果刊行	刊行物名	内容			刊行部数・頒布先・方法等	
	志太夏季大会HP 静教研HP	・基調提案 ・講演会資料 ・児童生徒作品 ・実践発表資料 ・夏季大会アンケート集計結果			HP掲載	

本年度の成果と課題

<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場とオンデマンドの参加人数を加えると、140人を超す参加人数となり、盛会のうちに終えることができた。 ・分科会をテーマ別とし、小中の発表を混ぜたことで、小中の職員が交流できる機会となった。 ・会場に子供の作品があり、実際に近くで見ることができたため、授業風景のイメージが持ちやすかった <p>(2)課題及び提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践発表の時間が長かったため、グループ協議の時間が十分とれなかった。もう少し、実践発表の時間を短くしたり、グループの数を多くしてグループ内の人数を減らすなどして、協議の時間を上手にもちたい。
